

沓掛新橋橋梁修繕工事 数量総括表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	単位	数量	当初数量	備考
工事区分	工種	種別	細別	規格				
橋梁保全工事					式	1	1	
	橋梁補修工				式	1	1	
		断面修復工			式	1	1	
			左官工法	鉄筋防錆あり	構造物	1	1	
			殻運搬処分	Co塊 無筋	m3	0.14	0.1	
		塗装塗替工			式	1	1	
			素地調整	1種ケレン	m2	52.044	52	低濃度PCB・鉛対応
			塗膜くず回収・積込工	塗膜くず及び研削材(ケリット)	m2	52.044	52	
			塗装塗替 防食下地	有機ジンクリッチペイント スプレー1層	m2	52.044	52	
			塗装塗替 下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 スプレー2層	m2	52.044	52	
			塗装塗替 中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗 スプレー1層赤系	m2	52.044	52	
			塗装塗替 上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗 スプレー1層赤系	m2	52.044	52	
			廃材処理工	橋梁塗膜くず(低濃度PCB及び鉛含む)	kg	78.066	78	
		水切り装置設置工			式	1	1	
			水切り装置設置	EPDM系ゴム	m	28.8	29	
		排水管取替工			式	1	1	
			排水管取替		m	0.72	0.7	
		伸縮装置設置工			式	1	1	
			コンクリート版切断	Co版 t=15cm以下	m	4.4	4	
			構造物取壊し	Co 無筋	m2	0.14	0.1	
			伸縮装置設置		m	4.4	4.4	
			汚泥処分工	Co	m3	0.006	0.01	
			殻運搬処分	Co塊 無筋	m3	0.009	0.01	
		足場工			式	1	1	
			吊り足場	タイプA3	m2	76.9	77	
				シート張防護	m2	76.9	77	
				ブラスト養生設備設置工	式	1	1	

沓掛新橋橋梁修繕工事 数量総括表

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	単位	数量	当初数量	備考
工事区分	工種	種別	細別	規格				
	仮設工				式	1	1	
		交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員A	人	10	10	
				交通誘導警備員B	人	10	10	
		環境対策設備工	環境対策設備工	クリーンルーム等	式	1	1	
共通仮設費					式	1	1	
	共通仮設費	安全費	安全保護具	化学防護服等	式	1	1	

断面修復工

断面修復工 ポリマーセメントモルタル

※防錆処理ありの場合 : 修復厚 50mm

No.	損傷寸法	面積 (m ²)	
		防錆処理あり	防錆処理なし
桁下工			
D1	0.05 × 0.15	0.008	-
D2	0.05 × 0.15	0.008	-
D3	0.05 × 0.15	0.008	-
D4	0.05 × 0.15	0.008	-
D5	0.15 × 0.35	0.053	-
D6	0.10 × 0.20	0.020	-
D7	0.70 × 0.40	0.280	-
D8	0.10 × 0.20	0.020	-
D9	1.90 × 0.47	0.893	-
D10	1.00 × 0.47	0.470	-
D11	0.10 × 0.20	0.020	-
D12	1.90 × 0.47	0.893	-
D13	0.10 × 0.20	0.020	-
集計		2.701	-
桁下工合計		2.701	-

◇鉄筋防錆あり t=50mm

$$A = 2.701 = 2.701 \text{ m}^2$$

$$V = 2.701 \times 0.050 = \underline{0.14} \text{ m}^3$$

・産廃処理 (運搬・処分)

コンクリート殻 (無筋)

$$V = 2.701 \times 0.050 = \underline{0.14} \text{ m}^3$$

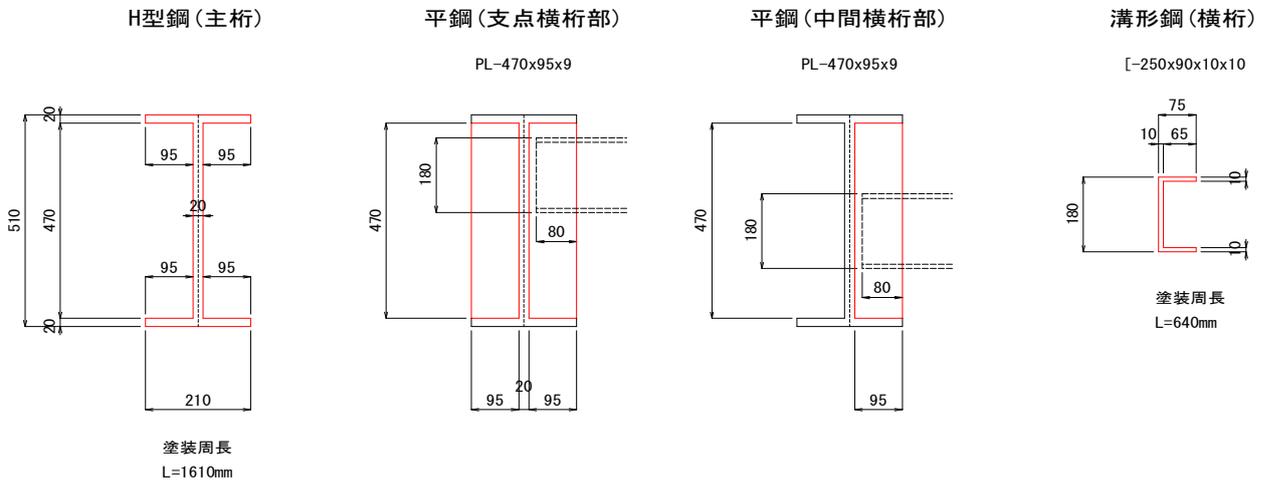
塗装塗替工

※ 詳細は、図面参照のこと。

塗装塗替工 (Rc- I 塗装系)

1. 塗装面積

各部材詳細図



材料表 (各部材)

部 材	周長 (m)	延長 (m)	面積 (m ²)	基数 (本数)	備 考
H形鋼	1.610	14.400	23.184	2	主桁
平 鋼	0.095	0.470	0.045	14	主桁
溝形鋼	0.640	1.460	0.934	5	横桁

1) 主桁

$$A = 23.184 \times 2 + 0.045 \times 14 \times 2 - \frac{0.210 \times 0.210 \times 4}{\text{支承部控除}} - \frac{0.180 \times 0.080 \times 10}{\text{横桁部控除}} = 47.308 \text{ m}^2$$

2) 横桁

$$A = (0.934 - 0.180 \times 0.080 \times 2) \times 5 = 4.526 \text{ m}^2$$

3) 支承

$$A = 0.250 \times 0.420 \times 2 \times 2 - \frac{0.210 \times 0.250 \times 4}{\text{主桁部控除}} = 0.210 \text{ m}^2$$

4) 塗装面積集計

部 材	1橋当り塗布面積 (m ²)
主桁	47.308
横桁	4.526
支承	0.210
合計	52.044

2. 塗装仕様

Rc- I 塗装系 (スプレー)

1種ケレン+弱溶剤形フッ素樹脂塗料

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m ²)	塗装面積 (m ²)
素地調整	1種 ※3	-	52.044
下塗	有機ジンクリッチペイント	600	52.044
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	52.044
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	52.044
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	52.044
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	52.044

- 注) 1. 塗装作業は、「日本道路協会鋼道路橋防食便覧」に従って行うこと。
 ※1:原則はスプレー塗装とするが発注者と協議の上で、はけ・ローラーに変更もできる。
 ※2:現場の施工条件に応じて塗装間隔を別途取り決める場合もある。
 ※3:プラスト処理による防せい度は ISOsa21/2とする。
 2. 施工再度塗装面積の確認を行い、数量を最終決定すること。

3. 廃材処理工

2) 塗膜くず

集積・積込

$$A = 52.044 \qquad \qquad \qquad = \underline{\underline{52.044}} \text{ m}^2$$

処分 (PCB・鉛含む)

$$W = 52.044 \times 1.50 \text{ kg/m}^3 \qquad \qquad \qquad = \underline{\underline{78.066}} \text{ kg}$$

水切り装置設置工

※ 詳細は、図面参照のこと。

水切り装置設置工

水切り材 (EPDM系ゴム)

接着剤にて接着 (シリコーンエポキシ樹脂系)

1) 水切り材延長

$$L = 14.400 \times 2 = \underline{28.80} \text{ m}$$

2) 接着剤 (シリコーンエポキシ樹脂系)

$$A = 14.400 \times 2 \times 0.025 = \underline{0.72} \text{ m}^2$$

排水管取替工

※ 詳細は、図面参照のこと。

排水管取替工

- $L = 0.72 \text{ m} = \underline{\quad 0.7 \quad} \text{ m}$
1. プレート $230 \times 230 \times t2$ (SUS304) リブ・フランジ加工
 $N = 1 = \underline{\quad 1 \quad} \text{ 枚}$
 $W = 1 \times 0.7 \text{ kg/枚} = \underline{\quad 0.7 \quad} \text{ kg}$
2. 排水管 $\phi 127 \times 0.720$ (SUS304)
 $N = 1 \text{ 本} \quad W = 3.5 \text{ kg/本}$
 $W = 1 \times 3.5 \text{ kg/本} = \underline{\quad 3.5 \quad} \text{ kg}$
3. 樹脂アンカー用ボルト $M10 \times 120$ (SUS304)
1-SW, 1-W, 2-N
 $N = 4 = \underline{\quad 4 \quad} \text{ 本}$
4. 削孔 $\phi 12 \times 90$
 $N = 4 = \underline{\quad 4 \quad} \text{ 孔}$
 $L = 0.090 \times 4 = \underline{\quad 0.360 \quad} \text{ m}$
5. 樹脂カプセル M10用
 $N = 4 = \underline{\quad 4 \quad} \text{ 個}$

伸縮装置設置工

※ 詳細は、図面参照のこと。

伸縮装置設置工

- 1) コンクリート版切断 (t=60mm)

$$L = 2.20 + 2.20 = \underline{4.4} \text{ m}$$

- 2) 構造物取壊し (t=60mm)

$$A = 2.20 \times (0.035 + 0.030) = \underline{0.14} \text{ m}^2$$

- 3) 伸縮目地設置延長

$$L = 2.20 + 2.20 = \underline{4.4} \text{ m}$$

シール材 (ユニコールド同等品)

$$W = 2.20 \times (0.035 + 0.030) \times 0.030 \times 1000 = \underline{4.29} \text{ リットル}$$

バックアップ材

$$W = 2.20 \times (0.035 + 0.030) \times 0.030 = \underline{0.004} \text{ m}^3$$

- 4) 汚泥処分工

$$V = 4.4 \times 0.023 \times 0.06 = \underline{0.006} \text{ m}^3$$

- 5) As殻運搬処分

$$V = 2.20 \times (0.035 + 0.030) \times 0.06 = \underline{0.009} \text{ m}^3$$

仮設工 ※ 詳細は、図面参照のこと。

足場工（床面・朝顔ともに板張・シート張防護工設置）

1) 吊り足場面積

$$A = 4.70 \times 16.37 = \underline{76.94} \text{ m}^2$$

足場必要面積

$$A = W \times L$$

W : 全幅員

L : 橋長又は必要長

2) シート張防護面積

$$A = 4.70 \times 16.37 = \underline{76.94} \text{ m}^2$$

3) 剥離用養生シート面積 ※足場面積と同じとする

$$A = 4.70 \times 16.37 = \underline{76.94} \text{ m}^2$$